

日本地衣学会

No.31

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次	会務報告.....	107
	第6回青空地衣教室(関東：北鎌倉円覚寺)の記録 / 木下靖浩・安斉唯夫.....	107
	第6回青空地衣教室の報告 / 小山内行雄.....	108

会務報告 Reports of the JSL Activities

第6回青空地衣教室(関東：北鎌倉円覚寺)の記録

去る11月16日に本年度関東地区での2回目の観察会として第6回青空地衣教室を開催したので報告する。

* * *

開催日：2003年11月16日(日)

開催場所：神奈川県鎌倉市円覚寺

(えんがくじ)

内容：平地の地衣類を観察する

参加者：11名

北鎌倉駅改札口で集合し、すぐ駅前にある円覚寺の境内で地衣類を観察した。

北鎌倉地区は、鶴岡八幡宮などのある市街地から巨福呂坂(こぶくろざか)切り通しを北西に抜けた一角で、円覚寺の他に建長寺や東慶寺などの名刹がある。南北に森の残る小高い丘があり

数多くの地衣が残っている。円覚寺境内では、ウメノキゴケやキウメノキゴケ、トゲウメノキゴケ、トゲハクテンゴケなどの葉状地衣、ヒメレンゲゴケ、ヒメジョウゴケなどの樹状地衣、ヘリトリゴケやコナイボゴケ、イ



図1. 記念撮影。

ワニクイボゴケなどの痲状地衣を観察できた。円覚寺には総門から入るのだが、入ってすぐ正面の石段を登った仏殿、山門、すぐ西側の選仏場のあたりで観察しただけ、ほとんど移動することもなく時間が経ってしまった。最後にその境内で記念撮影をした(図1)。

今回はスケジュールの関係で参加いただけなかったが、観察会の資料作成に当たり千葉県立中央博物館の原田さんには大変お世話になった。この場を借りて御礼を申し上げたい。

(木下靖浩・安斉唯夫：地域活性化委員会関東)

第6回青空地衣教室の報告

未明の強い雨も上がり、晴天に恵まれ、女性3名、男性8名(小学生の男子1名を含む)、午後1時に北鎌倉駅に集合しました。集合時間の前より、男子の採集してきた紙箱に入れた苔の観察会?がもう始まりました。

担当の木下さんの制作した資料を片手に、もう一方にルーペやカメラなどを手に、円覚寺の石段を上り、総門を通り、さらに石段を上った、三門とその先の仏殿(天井に白龍の図)のあるところが地衣観察地でした。

三門を通りぬけた先の仏殿のある場所は、石垣で少し高くなっていて、仏殿に向かって右側の石垣で最初の地衣を観察しました。

この石垣、高さ70cmぐらいで、観察には腰をかがめなければならぬのですが、石垣に沿って側溝があり、これが結構深く60cm程。しかも底には水もなく、“掃き清め”られていて、底に下りて観察すると、まことに好都合。ウメノキゴケ、ヘリトリゴケ、

ヒメレンゲゴケなどがあります。

石垣の前には、カエデ、桜、梅の三本。カエデや梅には、目立つ地衣の着生はなかったが(コナイボゴケ)、桜には、小さなウメノキゴケ、蘚苔類に混じってトゲウメノキゴケなど。皆さん、さっそくルーペやカメラ、ノートの大活躍でした。

石垣の左の方、松嶺院(檀家を増やすためなのか、工事中)の直径60cm程の桜の木の上部にキウメノキゴケが多数見られ、石段を上がり、回りこむと、西から北西の面にキウメノキゴケが沢山貼り着いています。反対側には、しょぼくれたウメノキゴケが少しだけです。このキウメノキゴケ、この付近ではこの木にしか見られないとのこと。一同、ルーペやカメラ、ノート、資料を参考にし、粉芽、裂芽、パステル談義を、しばし行う。いやぁ、皆さん熱心でした。

松嶺院から歩道に沿って少し進むと、また桜の木。これには、トゲウメノキゴケが多数貼り着いています。これもまた見事です。やはりこの付近ではここにしか見られないとのこと。



図2. クロウラムカデゴケ。

さらに少し進んで、ビャクシン?の木には、クロウラムカデゴケがこれまた多数着生しています(図2)。ループの大活躍です。更に“白いの”。

専門家によると、チョークタケと言う菌とのことでした。チョーク?だの。ペンキだの。これはイメージが膨らみ、みんなニコニコ顔でした。

ビャクシンの北側のカエデにはモジゴケが少し、しかし、“チョーク”、“ペンキ”、クロウラムカデゴケに熱心で、誰も見ていません。

ここまでの3本、何れの木にも、この付近では、この木だけという、孤高の地衣達です。“ライブ地衣図鑑”にでもしたらどうでしょうか。キウメノキゴケ、トゲウメノキゴケ、クロウラムカデゴケです。

ビャクシンの木の目前に選仏場(仏を選び出す堂宇のこと?)があり、右側には仏殿があります。選仏場は、その奥に、仏像(薬師如来?)が一体あり、観光客が沢山、入って行ってはすぐに出てきます。観光客が選仏場に入って行く左の石塔には、頭部にヤマトキゴケ、そしてウメノキゴケが、右の石塔には、マツゲゴケ、下部にコフキジリナリアがあります。

石塔に群がる“カナブン!”達(どこかで聞いたような見たような)。観光客たちは、「“カナブン”だ“カナブン”だ」ではなく、「苔の学者さんだ、苔の学者さんだ」と言っでは、選仏場の中に入っては、すぐ出てきます。

右を向くと梅の木が仏殿の横に数本、しかしこの梅の木には、ウメノキゴケどころかめだっ

た地衣は着生してないようです。

選仏場を龍隠庵の方に左に曲がり進むと、居士林(坐禅道場、柳生流の剣道場を移築)側の桜の木には、トゲハクテンゴケ(図3)が、一団体あります。これも孤高の地衣のようです。その他ウメノキゴケ、コフキジリナリア、上部にはマツゲゴケ?が着生しています。一団体のトゲハクテンゴケに順番待ち状態でした。

最後は仏殿の前の左側の石塔でした。イワニクイボゴケ。ここまで来ると、“カナブン”だか“苔の学者さん”だかも疲れてきたようです。この感想文?を書いている私も、思い出しながら書いているので少々疲れてきました。そろそろ終了のようです。

みんな、地衣の着生していそうな樹木や岩などを探し、カメラで粘る方、地衣の話の輪を広げる方々、いろいろでした。

復習のため歩きまわると、仏殿左側の石塔にはウメノキゴケをみしました。その左側の大きなビャクシンの木は鎌倉市の天然記念物で、このビャクシンには着いていないようです。「市 然記念物」と書かれた標柱には、書かれた文字が見えなくなるくらいに地衣?が着生しています。しかもこの標柱はプラスチックでコーティン



図2. トゲハクテンゴケ。

グしているように見えます。ロープが張ってあるのと、標柱が高いのでよく見えませんでした。更に左の直径30cm ぐらいの松の木には、ウメノキゴケ? がびっしり着いています。これもロープの中なので、よく見ていません。

これで観察報告すべて? です。記憶違いがあると思っ
てます。それは「ゴメン」ということをお願いします。
観察場所は、仏殿付近だけで奥の方に行く時間はありま
せませんでした。奥のほうにもありそうだね、とおっしゃっ
ている方もいました。

この付近では、仏殿に向かって左側(北側)の樹木に
多くの地衣が着生しています。しかも樹木の西から北側

面に多く着いています。仏殿の右側(南側)には車道が
あり、樹木が少ないせいかもしれません、日が当たらな
いためかもしれません。着生、生育に最適な環境がある
のでしょうか。

皆さん、鎌倉に行けば円覚寺でしょう。そのときは是
非に“円覚寺地衣”も見てきてください。木下さんの“円
覚寺地衣地図”は役に立ちます。私も後日、復習に行き
たいものです。

仏殿をバックに全員でパチリとやって解散しました。
皆それぞれ“地衣の新しさ”を発見した秋の一日でした。

(小山内行雄: 日本工業大学 共通系 非常勤講師)

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権
センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員
以外は、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を
受けている次の団体からの許諾を受けてください。著作物
の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連
絡ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学
術著作権協会。

Tel: 03-3475-5618. Fax: 03-3475-5619. E-mail:
naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡して
ください。

Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood
Drive, Danvers, MA 01923 USA.

Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744

Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you
or your organization must obtain permission from the
following organization which has been delegated for
copyright for clearance by the Japanese Society for
Lichenology.

Except in the U.S.A.: Japan Academic Association for
Copyright Clearance (JAACC).

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052
Japan. Tel: 81-3-3475-5618.

Fax: 81-3-3475-5619. E-mail:
naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

In the U.S.A.: Copyright Clearance Center, Inc. 222
Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA.
Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744.

Lichenology 日本地衣学会ニュースレター とも、投稿先は:

原田 浩。〒260-8682千葉市中央区青葉町955-2
千葉県立中央博物館。Fax 043-266-2481.

E-mail: h.hrd3@mc.pref.chiba.jp

(原田 浩: 編集委員長)

日本地衣学会ニュースレター 31号

発行日: 2004年 1月31日

編集: 原田浩・岡本達哉・木下靖浩・棚橋孝雄
発行者・発行所: 日本地衣学会

〒010-0195 秋田市下新城中野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内
